

本資料は 11 月 6 日にスイスで発表されたプレスリリースの日本語抄訳版です。
詳細な情報は下記より英語原文をご覧ください。
<https://bit.ly/2zvd48l>

アデコ 2018 年度第 3 四半期は基調利益率が成長

生産性向上に向けた「GrowTogether」プログラムを進めるとともに戦略的取組への投資を継続

[2018 年 11 月 6 日 スイス・チューリッヒ]

2018 年第 3 四半期サマリーとハイライト

- 営業日数調整後の既存事業売上高¹は前年同期比 2%増
- フランスでの事業が好調を継続：売上高は前年同期比 5%増となり、利益率も改善
- 人財紹介事業の既存事業売上高が前年同期比 19%増と大幅に成長
- 粗利率は人財紹介事業、General Assembly および Vetterly の成長により、前年同期比 20bps 増の 18.7%
- 一時的要因を除く EBITA² 利益率は、5.0%；生産性向上による基礎的な利益率の向上が、戦略的投資による影響（前年同期比-30bps）およびドイツでの事業の影響（前年同期比-20bps）により相殺
- 当期純利益は 2 億 7000 万ユーロ
- 2018 年 9 月、10 月の営業日数調整後の既存事業売上高は 1%増
- Beeline の売却が完了し 1 億 1300 万ユーロの資産売却益を獲得

アデコグループ CEO、アラン・ドゥアズは次のようにコメントしています。

「9 月に開催した投資家の皆様向けのセミナーでもお伝えしたように、ヨーロッパの多くの市場で成長が鈍化した 2018 年第 3 四半期の結果は課題が残るものとなりました。このような状況のなか、当社は全体的として堅調な結果を残しました。既存事業売上高は、日本および主要国以外の地域における業績の向上により、前年同期比 2%増となりました。また、最大の市場であるフランスでの事業は、好調を継続しています。

当社の事業は、市場成長の減速に毅然として対応し、利益率を維持するために適切なコスト調整を行いました。戦略的取組みへの継続的な投資と、ドイツにおける事業の変革が EBITA 利益率に影響しましたが、当社は基礎的な収益性の改善を進めて参りました。「GrowTogether」プログラムは、現在、米国、英国、フランスなどで広がっており、実際に成果をもたらしています。われわれは生産性の向上により、2018 年に 5000 万ユーロ、2020 年には 2 億 5000 万ユーロのコスト削減を行います。それとともに、われわれが持つソリューションをさらに差別化し、今後の成長を支えるデジタルに対応したサービスを構築して参ります。

当社のデジタル変革が勢いを増すにつれ、世界中の従業員の情熱とコミットメントが、理想を現実のものとしています。前向きで互いに刺激を与え合える職場環境を提供することは、当社が成功するために不可欠なものです。したがって、Great Place to Work® が先日発表した 2018 年版「働きがいのあるグローバル企業」世界ランキング（World's Best Workplaces 2018）で、第 5 位を獲得できたことを非常に喜ばしく思っています」

*1：既存事業売上高とは米国会計基準以外の基準で、為替変動、M&A、事業部売却の影響を除く

*2：EBITA は米国会計基準以外の基準で、償却前営業利益、のれん、および無形固定資産の減損を含む

*3：2018 年度年 3 四半期の一時的要因を除く EBITA は、事業再編費用に関して 400 万ユーロであり、そのうち事業再編費用が 200 万ユーロ、取得コストが 200 万ユーロ。



< 主な数値 >

2018 年第 3 四半期の損益計算書情報のサマリー

単位： 100 万ユーロ	2018 年 第 3 四半期	2017 年 ⁴ 第 3 四半期	変化率(%)： 報告数値	変化率(%)： 既存事業成長率
売上高	5,996	5,901	2%	2% ⁵
売上総利益	1,124	1,091	3%	1%
EBITA 利益 (一時的要因を除く)	302	320	-6%	-2%
EBITA	298	320	-7%	-3%
当期純利益	270	123	119%	
希釈 EPS (ユーロ)	1.63	0.73	123%	
粗利率	18.7%	18.5%	20bps	(10)bps
EBITA 利益率 (一時的要因を除く)	5.0%	5.4%	(40)bps	(30)bps
EBITA 利益率	5.0%	5.4%	(40)bps	(30)bps

2018 年第 3 四半期のキャッシュフローおよび純負債情報のサマリー

単位： 100 万ユーロ	2018 年 第 3 四半期	2017 年 第 3 四半期
利払いおよび納税前のフ リー・キャッシュフロー ⁶ (FCFBIT)	222	233
フリー・キャッシュフロー (FCF)	130	161
純負債 ⁷	1,239	1,072
未払い日数	54	53
現金流動性 ⁸	78%	94%
EBITDA への純負債 ⁹	1.1x	0.8x

*4：2018 年に「ASU 2017-07 - 正味年金および退職後給付費用の表示」を採用したことにより、2017 年の数値が修正されました。「販売費及び一般管理費」に表示されていた、2017 年第 3 四半期の 100 万ユーロ、および 2017 年 9 月累計 200 万ユーロ以外の年金費用の構成要素は、「その他の収益 / (費用), ネット」に表示されています。

*5：2018 年第 3 四半期の既存事業の売上高の成長率は 2%もしくは営業日数調整後で 2%

*6：フリー・キャッシュフローは米国会計基準ではない尺度で、営業活動からのキャッシュフローから設備投資を控除したもの

*7：純負債は米国会計基準以外の基準で、短期および長期の借入金から現金、現金同等物、および短期投資を控除したもの

*8：現金換算は米国会計基準以外の基準で、直近四半期の FCFBIT を直近四半期の EBITA で割ったものを四捨五入して計算

*9：EBITDA への純負債は米国会計基準以外の基準で、期末時点での純負債を、一時的要因を除いた直近四半期の EBITA で割って減価償却費を加えたもの

2018 年第 3 四半期の日本の状況

2018 年第 3 四半期の日本での売上高は 4%増の 3 億 2300 万ユーロで、プロフェッショナル・スタッフィング事業と人財紹介事業が好調に成長しました。EBITA は 2200 万ユーロ、EBITA 利益率は前年同期比 60bps 増の 7.0%となりました。事業構成とプライシングによる効果が、IT への戦略的投資による影響を上回りました。

【本件に関するお問い合わせ先】

アデコ株式会社 広報部 Tel. 03-6743-8085